

日本語教材に見る褒め言葉とジェンダー： 英語教材との比較

A Study of Gendered Compliments in Japanese Teaching Materials: A Comparison with English

河内山 有佐

1. はじめに

一般的に、褒めるという行為には、円滑な人間関係を構築し維持する役割を果たす対人機能 (Holmes 1995、柏木 2017、ワトソン 2019) と、カンパセーションオープナーや会話を継続させるといった談話的機能があると言われている (小玉 1996、ワトソン 2019)。ポライトネス理論 (Brown & Levinson 1987) の観点から見ると、ほめの発話によって肯定的な評価を与えられた相手は、他者に良く思われたい、認められたいという欲求、つまりポジティブ・フェイスを満たすことができると認識されている。一方で、状況や場面によっては、褒め言葉が社交辞令やお世辞と捉えられる場合もあり、相手の他者に干渉されたくないというネガティブ・フェイスを脅かす可能性もある (柏木 2017)。また、日本人は英語話者に比べ褒め言葉の使用に関して消極的であると言われている。その理由として、日本人は敬語の使用により相手から距離を置くようなネガティブ・ポライトネスの発話に慣れているため、褒め表現というポジティブ・ポライトネスを不得意とすることが挙げられる (新藤 2018)。「ほめ」と一言に集約しても非常に複雑で、どのような場面で使用するのか、また文化間ではどのような違いがあるのかといった社会語用論上のルールを踏まえた上で使用する必要がある。英語学習者にとっても、今後ますます異文化間コミュニケーションの機会が増えるであろうことを考えると、単に英語の言語能力を身につけるだけでは十分ではなく、語用論的ルールを踏まえたコミュニケーション・コンピテンスのスキルが必要であることは明白である (新藤 2018)。

一方、ポライトネスの研究において様々な形で議論されてきたのが、ジェンダーとポライトネスの関係である。欧米で盛んに研究されてきた男女の会話に関する分析結果によると、男女にはそのストラテジーに違いがあり、男性は聞き手の上に立つことを会話の目的

として、相手に命令したり議論するという競争的対話の方法をとる傾向がある。一方、女性は相手との友好的な関係を築くことを会話の目的として、衝突を回避し、曖昧な言語表現を用いるという協調的な対話の方法をとる傾向がある (Tannen 1992、Sheldon 1993)。会話における褒め言葉の使用についても男女間の違いが報告されている。Holmes (1995) や Wolfson (1983) は男女の被検者に対して褒め言葉を発する頻度及び褒め言葉を受ける頻度を調査し、女性が男性より遥かに頻繁に褒め言葉を使い、また、褒め言葉をかけられた報告している。

日本においては、瀬田・木田 (2008) がほめについて談話分析を行い、女性と比べて男性は褒める行為に対してより抵抗感があることを明らかにしている。増田 (2019) は言葉遣いの実用書に見られるほめの対象について分析し、男性向けの実用書には、相手の容貌や体形を褒める例が多く見られ、女性向けの実用書には、相手の身に着けている物や持ち物を褒める例が多く示されていると報告している。

本研究では、英語の先行研究に見られるほめの使用における男女差が日本語教材に応用されているか否かを調査する。研究対象として、新型コロナウイルス感染症拡大以降需要が高まっている YouTube において無料で視聴が可能な日本語教材を使用する。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い YouTube を始めとする様々な動画配信サービスの利用者数が増加した。古宮 (2021) の調査によると、2020 年 9 月における YouTube の月間利用者数 (18~64 歳) は 6,500 万人を超え、「新型コロナウイルスの流行以降に YouTube の利用が増えた」と回答した人は 74%に達した。新型コロナウイルス感染症が終息した現在もその視聴者数は衰えることがなく、田代 (2023) によると、国内における 18 歳以上の YouTube 月間ユーザー数は 2023 年 5 月時点で 7,120 万人を超え、そのうち 2,680 万人以上が 45 歳から 64 歳のユーザーと、若年層に限らず幅広い世代で利用が進んでいることが明らかになっている。さらに多岐に渡る視聴デバイスや動画の尺、ジャンルが現れており、YouTube が今後ますます生活のあらゆるシーンに浸透すると指摘されている。

これらを鑑みて、本研究では、日本語教材におけるほめの使用とジェンダーの関係を考察し、先行研究で得られた英語のほめの使用における男女差の分析結果と比較し検証する。具体的には、まず、男女の発話において褒める頻度に違いがあるか調べる。次に、何について褒めるのかその対象について男女別に調査し、最後に、褒め言葉を英語授業で取り上げる際の課題を検討する。

2. 褒め言葉の対象・種類

褒め言葉の対象について、Holmes (1995) は「外見」、「能力」、「所有物」、「性格・行動」

の4つに分類している。現代劇やテレビドラマのシナリオにおける日本語のほめを分析した大野（2003）は Holmes の4つの項目の他に、配偶者や兄弟といった「家族」と料理、絵、プレゼント、プレゼンテーションといった「作品」を付け加えている。同じく日本語のほめの特徴を対人関係の観点から検証した古川（2003）は Holmes や大野の分類にある「家族」の項目に友人等を含み「関係ある人」とより広く定義し、Holmes の「性格・行動」の項目を「性格」と「行動・態度」とに分け、より詳細な分類を試みている。日米のテレビドラマにおける褒め表現を分析したワトソン（2019）は、これらの項目に「人全体」という項目を追加し、外見や才能、達成等複数の対象を含む全体的な魅力に言及したものと定義している。また、「才能・達成」という項目も追加し、Holmes の分類にある「能力」の他に、出世や専門的知識や技術といった後天的な達成を加えて定義している。

褒め言葉の種類としては、新藤（2018）が真意から相手を褒める「実質ほめ」と表面的には褒めているがそれが真意から出た言葉でない「皮肉ほめ」とに分類している。さらに「実質ほめ」について、素直に相手を褒める「純粋ほめ」、相手との関係を良好に保つための「形式ほめ」、及び相手の称賛すべき行為や評価が含まれている感謝を「感謝ほめ」と定義している。

3. 英語教材に見る褒め言葉とジェンダー：先行研究

先行研究（河内山 2023）では、友人同士2人以上の対話者がいる初級または中級レベルの YouTube 英会話動画チャンネルが研究対象の素材として扱われた。それらの教材の中で見られる褒め言葉や表現を含む発話の出現数を男女別に調べ、次に、どのようなことについて褒めるか、その対象について、先述の先行研究における分類項目（Holmes 1995、大野 2003、新藤 2018、ワトソン 2019）に基づき下記の6項目に分類した。その結果、総数40件のほめにおける男女差については、女性から女性が31件、女性から男性が5件、男性から女性が4件、男性から男性が0件であり、女性から女性へのほめが圧倒的に多く見られ、男性から男性へのほめは皆無であった。ほめの対象については、「外見」（22件）、「所有物」（13件）、「性格・態度・行動」（3件）、「作品」（1件）、「関係ある人」（1件）となり、「外見」を褒めた件数が圧倒的に多く、「所有物」を褒めた事例も次に頻繁に見られた。一方、「才能・達成」についてのほめは一切見られなかった。話者が何について褒めているかをジェンダー別に示したものである。女性が女性を褒める場合、ほめの対象が「外見」であるケースが20件と最も多く、次に「所有物」を褒めるケースが7件であった。「性格・態度・行動」を褒めた件数が2件、「作品」、「関係ある人」を褒めた件数がそれぞれ1件であった。女性から男性を褒める場合は、「外見」と「所有物」が対象である

ケースがそれぞれ 2 件見られ、「性格・態度・行動」を褒めるケースが 1 件あった。男性が女性を褒める件数は 4 件であったが、そのうちすべてのほめ対象が「所有物」であった。

4. 調査方法

4.1. 教材

本研究の調査対象として、下記の YouTube 日本語会話動画チャンネル 5 本を素材として選んだ。教材の選定に際しては、教師が一方向的に教えるようなものではなく対話者として登場人物がいること、対話者が友人同士という設定であること、無料で視聴が可能であることという基準を用い、対象教材の等質性を確保した。上記の基準に従い以下の 5 本の教材が選定された。これらの教材の抜粋場面はいずれも日本語のネイティブ話者が 1 人以上登場し、ネイティブ或いはノンネイティブ話者と対話するという形式がとられている。教材の対象学習者のレベルは初級、中級、上級レベルと幅広くなっている。

<教材>

(1) My Japanese Lesson

(制作：日本、チャンネル登録者数：3.45 万人、形式：アニメ、尺：ノーマル)

(2) ハムスケのにほんご

(制作：日本、チャンネル登録者数：14.5 万人、形式：アニメ、尺：ノーマル)

(3) Meshclass 日本語

(制作：日本、チャンネル登録者数：14.6 万人、形式：人物、尺：ノーマル)

(4) AHR Japan School

(制作：日本、チャンネル登録者数：7890 人、形式：人物、尺：ノーマル)

(5) @RiceBurger Studios: Learn Japanese

(制作：アメリカ合衆国、チャンネル登録者数：1.7 万人、形式：アニメ、尺：ショート)

4.2. 本研究で扱うほめの対象・種類

本研究では、褒め言葉や表現を含む発話、つまりほめの出現数を男女別に調べる。次に、どのようなことについて褒めるか、褒める内容について、先述の先行研究における分類項

目 (Holmes 1995、大野 2003、新藤 2018、ワトソン 2019) に基づき下記の 6 項目に分類する。

<ほめの対象>

- (1) 「外見」: 容姿、体形、髪型等の見た目や衣類、靴等体に密着した物。
- (2) 「所有物」: 鞆等の持ち物、自動車、家など。
- (3) 「才能・達成」: 先天的能力や後天的な能力、知識、出世、専門的知識や技術。
- (4) 「性格・態度・行動」: 発話時の直前に見られる相手の性格に起因する態度や行動。
- (5) 「作品」: 相手が作成した料理、絵、相手が選んだもの、プレゼンテーション等のパフォーマンス。
- (6) 「関係ある人」: 家族、友人、関係者。

4.3. ほめの分類と人間関係の分類

褒め言葉を含む発話、つまりほめの分類については、先述のとおり、真意から相手を褒める「実質ほめ」と表面的には褒めているがそれが真意から出た言葉でない「皮肉ほめ」(新藤 2018) とがあるが、本研究の対象データが褒め言葉を学習する教材であるため、「皮肉ほめ」が使われる可能性はほぼないと考えられる。従って、本研究では「実質ほめ」のみを対象として分析を行う。

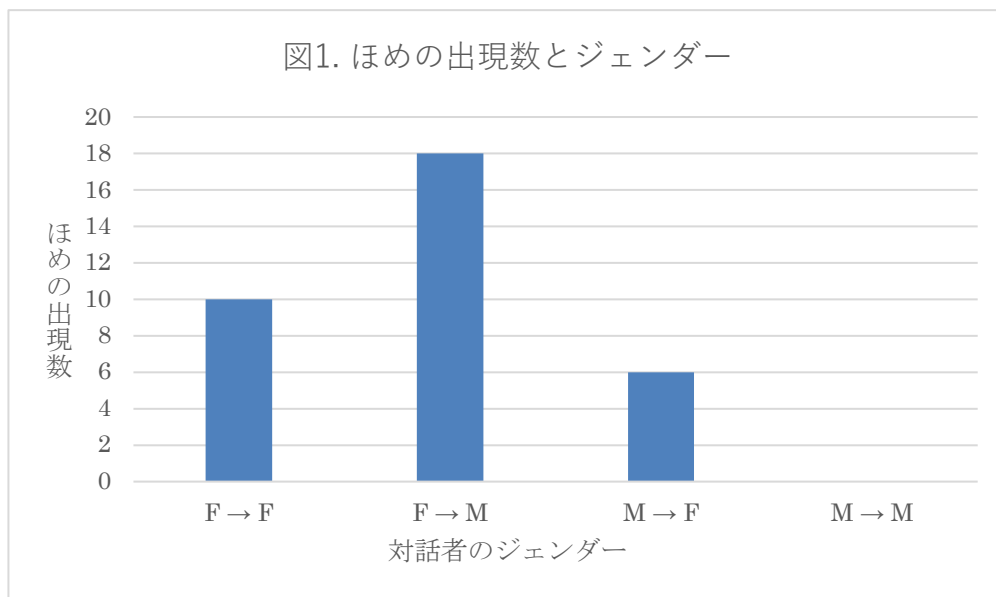
褒め言葉を人間関係の観点から調べた研究もおこなわれており(南 1987、ワトソン 2019)、いずれの研究においても話者の立場や地位、能力の上下関係等によって褒める対象が異なると報告されている。本研究のデータで扱う人間関係については、ジェンダーという要因により焦点が当たるよう、分析の対象を対等の立場であると考えられる友人同士の対話に限定する。

また、面前にいない人物について言及された褒め表現は、その対象となる人物に何ら心理的影響を及ぼさないことから(新藤 2018)、会話中の話題に過ぎないと判断してほめとは認定しないこととする。

5. 結果

図 1 は日本語会話教材における女性から女性 (F → F)、女性から男性 (F → M)、男

性から女性 (M → F)、男性から男性 (M → M) の間で出現したほめの件数を示したものである。ほめの総数は 34 件であり、男女差を見ると、件数の多い順に、女性から男性が 18 件、女性から女性が 10 件、男性から女性が 6 件、男性から男性が 0 件であった。

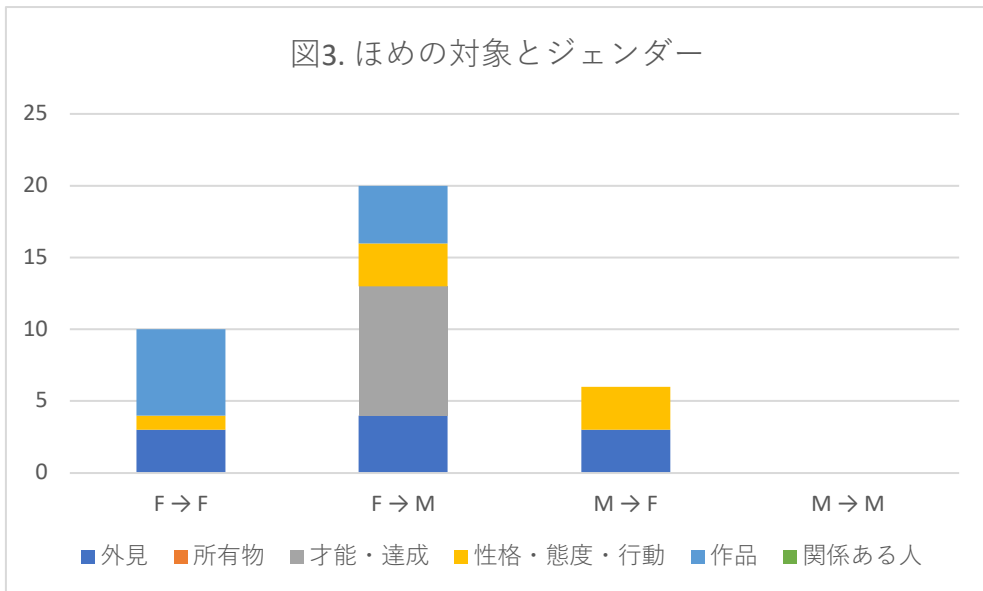
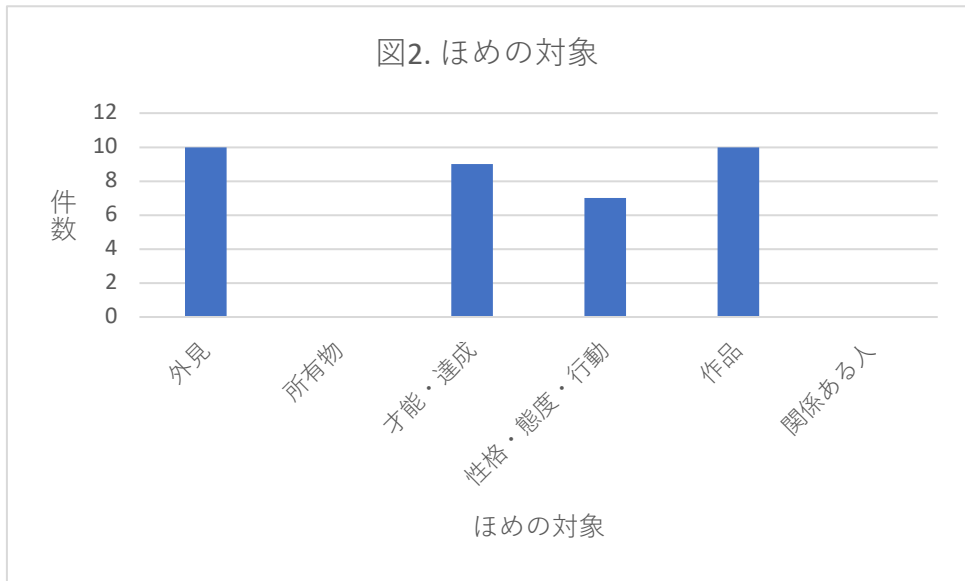


F=女性 M=男性

女性から男性へのほめが圧倒的に多く見られ、男性から男性へのほめは皆無であった。女性から発せられたほめは 28 件見られ、男性の発話には 6 件のほめが見られた。このことから、日本語会話動画チャンネルのエピソードに見られるほめの頻度における男女差は、先行研究におけるほめの男女差の研究結果と一致していることが明らかになった。一方、女性から女性へのほめが圧倒的に多く見られた英会話教材の結果と異なり、本データでは、女性から男性へのほめが最も多く現れた。

次に、ほめの対象を調べた。図 2 は教材の対話に見られたすべてのほめの対象を示したものである。多い順に「外見」(10 件)、「作品」(10 件)、「才能・達成」(9 件)、「性格・態度・行動」(7 件) となり、容姿や服装といった「外見」と手料理といった「作品」、日本語が上達したという「才能・達成」を褒めた件数が多く見られた。一方、「関係ある人」と「所有物」についてのほめは一切なかった。特筆すべき点は、英会話のほめの対象として 2 番目に多く見られた「所有物」が日本語会話では一切現れず、反対に、英会話のほめ

の対象では皆無であった「才能・達成」が日本語会話のほめにおいて2番目に多く現れたことである。



F=女性 M=男性

図 3 は話者が何について褒めているか、ほめの対象をジェンダー別に示したものである。女性が女性を褒める場合、ほめの対象が「作品」であるケースが 6 件と最も多く、実際、手料理を褒めている会話が多く見られた。これは「外見」であるケースが 20 件であった英会話の結果と異なる。次に「外見」を褒めるケースが多く認められた。「所有物」を褒めるケースは皆無であった点は 7 件あった英会話とは異なる。「性格・態度・行動」を褒めた件数は 1 件認められ、この結果は 2 件見られた英会話のケースとあまり変わらなかった。女性から男性を褒める場合は、「才能・達成」が対象であるケースが 9 件と最も多く、これは主に日本語が上達したことを褒める内容であった。「才能・達成」のほめが皆無であった英会話の結果とは異なることとなった。男性が女性を褒める対象は「外見」が 3 件、「性格・態度・行動」が 3 件であったことから、男性が女性を褒める対象のすべてが「所有物」であった英会話の結果とは大きく異なった。

次に、褒める対象についての具体例を項目ごとに見ていく。

(1) 「外見」

例1 女性 1：着てみたけど、どんな感じ？

女性 2：似合ってるよ。

女性 1：じゃあ、このシャツ買ってくるね。

(ハムスケのにほんごからの抜粋)

例2 男性：田中さんはいつも本当にきれいですね。

女性：いえいえ、全然そんなことはないですよ。

男性：いやいや、本当にきれいですよ。

(AHR JAPAN SCHOOL からの抜粋)

例3 女性：ハン君、今日もかっこいいね。

男性：本当、ありがとう。

女性：イケメンだし、モテるでしょう。

男性：いや、そんなことはないよ。

(@RiceBurger Studios: Learn Japanese からの抜粋)

例 1 と例 2 は中級レベル向けの動画から、例 3 は上級レベル向けの動画からの抜粋である。例 1 では「ショッピング」というタイトルの会話で、女性の友人同士がモールへ行き、

試着し終わった女性1が女性2に意見を求めるという場面である。女性同士で「外見」を褒める場合、本データにおいては、例1にあるように、服装やネックレスという肌に身につけているものを褒める会話のみが認められた。一方、男性と女性の間での会話においては、例2と例3に示されるように、いずれの場合も容姿についてのほめが認められ、身につけているものを褒める発話は見られなかった。

(2) 「才能・達成」

例4 女性：チョウさん、日本語が上手ですね。

男性：いいえ、まだまだです。上手じゃありません。ありがとうございます。

(Meshclass 日本語からの抜粋)

例5 女性：グウェンさんは本当に日本語が上手ですね。

男性：いえ、まだまだです。今も勉強中ですよ。

女性：そんなことはないですよ。本当に上手です。

(AHR JAPAN SCHOOL からの抜粋)

例6 女性：うわー、私最下位だ。ロイ君は？これ？

男性：うん。

女性：凄いね。ずば抜けて成績がいいね。

(Meshclass 日本語からの抜粋)

例4と例5は中級レベル向けの動画からの抜粋で、いずれにおいても女性が男性の日本語の能力を褒めている場面である。本データではほめの対象として見られた9件の「才能・達成」はいずれも女性から男性へのほめであるが、そのうち8件は日本語の能力や上達を褒めるという内容であった。例6は「ずば抜けて」というフレーズを学習する中級学習者向けの動画からの抜粋である。職場で友人同士が営業グラフを見ながら、女性が男性の営業成績を褒めるという場面である。

(3) 「性格・態度・行動」

例7 女性：チョウさん、日本語が上手になりましたね。

男性：ありがとうございます。手塚さんに褒められると嬉しいです。

(Meshclass 日本語からの抜粋)

例8 男性：まいこちゃん、今日は僕が奢るよ。

女性：え、いいの？頼りになる。

(@RiceBurger Studios: Learn Japanese からの抜粋)

例7は女性に褒められた後、男性がその行為に対してほめで返すというものである。例8も同様に、男性が奢ってくれるという申し出を褒めている。これらは「感謝ほめ」と言われるもので、単なる「ありがとう」だけでなく、その前後に感謝の根拠となる相手の行為や評価語が述べられるものである（新藤 2018）。新藤による日英語の談話分析の結果、感謝ほめにおいては英語より日本語での使用頻度が高いことが判明し、日本語ではほめ表現と共に感謝の気持ちも表明する機会が多いことが示されている。

(4) 「作品」

例9 女性1：さあ、できましたよ。

女性2：わあ、美味しそう。食べてもいいですか？

女性1：もちろん、どうぞ。

女性2：いただきます。甘くて美味しいです。

(My Japanese Lesson からの抜粋)

例10 女性：今日のプレゼン本当に良かったですよ。流石です。

男性：ありがとうございます。チームの皆さんのお陰です。私は何もしてません。

(AHR JAPAN SCHOOL からの抜粋)

例9は女性を作ったお団子を友人の女性が食べるという場面である。本データで認められた「作品」というほめの対象の全10件は全て女性からの発話であったが、そのうち9件が食べ物に関する褒め言葉であり、9件のうち7件は相手の手料理に対して、2件は購入した食べ物に対する褒め言葉であった。初級、中級者向けの日本語教材において、食べ物や手料理という身近なトピックが扱われていることが多いことが、ほめの対象の頻度と関係していると考えられる。例10は職場の友人同士の会話で、プレゼンテーションという男性が作り上げたものを女性が褒めている場面である。

6. まとめ

本研究では、日本語会話動画チャンネルの教材に見られるほめの使用において男女差が見られるか否かを調べ、英会話動画チャンネルのほめを調べた先行研究の結果と比較分析した。男性と比べて女性の発話においてよりほめが認められたという点においては、英会話の男女差に見られた結果と同じであった。一方、日本語会話において、女性から男性へのほめが最も多く現れたという点は、女性から女性へのほめが圧倒的に多く見られた英会話教材の結果と異なった。男性同士のほめの会話が皆無であったという点は日英語間で共通していた。次に、何について褒めるか、その内容について男女別に調査したところ、女性が女性を褒める場合、その対象が「作品」であるケースが最も多く、実際、手料理を褒める会話が多く見られた。これは「外見」を褒めるケースが最も多かった英会話の結果と異なった。また、英会話で頻繁に見られた「所有物」を褒めるケースは日本語では皆無であった。さらに、女性が男性を褒める場合は、日本語が上達したことを褒める「才能・達成」が対象であるケースが最も多かった。これは「才能・達成」のほめが皆無であった英会話におけるほめの対象とは異なる結果となった。さらに、日本語会話において男性が女性を褒める対象は「外見」と「性格・態度・行動」であったという結果は、男性が女性を褒める対象のすべてが「所有物」であった英会話の結果と大きく異なった。

特に日英語間で異なる結果となったほめやその対象については、背後にある文化の違いが反映していると考えられる為、英語教育の現場において理解を深める必要があるだろう。例えば、英語では他者の自宅に招待された時に室内を褒める習慣があるが、日本ではそのような機会はあまりない。このような文化的背景が日英語それぞれの教材における「所有物」というほめの対象の出現頻度に影響していると考えられる。また、異性の外見を褒めることは英語圏ではタブー視される傾向があるが、日本では比較的寛大であると考えられる。先述にある通り、褒めるという行為は、状況や場面、また文化によっては、相手の他者に干渉されたくないという *negative face* を脅かす可能性もある。そのため、異文化ではどのような場面でほめを使用するかの社会語用論上のルールと併せて学習する必要があるだろう。また、本データにおいては、英語では少ない感謝ほめが頻繁に見られた。このことから、日本語の感謝ほめの表現をそのまま英語に直訳することや、母国語の習慣に倣って頻繁に使用することは語用論的に不適切な場合がある可能性もある。これらのことを鑑みて、日英語間で異なる結果が認められたほめの表現については、英語授業で特に注意を払って教える必要があるだろう。

研究上の課題として、褒め言葉を使用する送り手の発話のみでなく、その発話に対する受け手の言語行動もほめの行動研究においては重要な要素である。今後は日英語における褒められた側の返答にも注目し、ほめの相互行為や文化の違いを考察しなければならない。

さらに、教材における対話が必ずしも現実の言語使用を反映しているとは限らない。実際の対話におけるほめの仕方や機能を調べる必要がある。今後さらなる研究により明白になった情報を教育現場に活かしていくことが必須である。

参考文献

- 大野敬代 (2003) 『『形式ほめ』の条件について：シナリオ談話における先行要素の調査から』『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』 11 179-188.
- 柏木厚子 (2017) 「インタビュー番組における褒めの返答の日米比較：非言語データも含めた発話分析」
- 河内山有佐 (2023) 「ESL/EFL 教材に見る褒め言葉とジェンダー」『和洋女子大学英文学会誌』 58 34-45.
- 小玉安恵 (1996) 「対談インタビューにおけるほめの機能 (1)：会話者の役割と談話におけるという観点から」『日本語学』 15-5 59-67. 明治書院
- 新藤三雄 (2018) 「日英の談話におけるほめ表現の語用論的分析：ポジティブ・ポライトネスの重層性」『アドミネストレーション』 25-1 64-77.
- 古川由理子 (2003) 「書き言葉データにおける「対者ほめ」の特徴：対人関係から見たほめの分析」『日本語教育』 117 33-42.
- 瀬田幸人・木田祥恵 (2008) 「積極的ポライトネスにおける「ほめる」行為—ジェンダーの視点から」『岡山大学教育学部研究集録』 137 103-114.
- 南不二男 (1987) 『敬語』 岩波書店
- 増田祥子 (2019) 「言葉遣いの実用書にみるほめの男女差」『現代日本語研究会』 72-85.
- ワトソン有 (2019) 「ほめに関する日米対照研究」『日本大学大学院総合情報研究科紀要』 20 62-72.
- Brown, P. & Levinson, S.C. (1987). *Politeness: Some universals in language usage*. Cambridge University Press.
- Holmes, J. (1995). *Women, men and politeness*. Eihosha.
- Sheldon, A. (1993). Pickle fights: Gendered talk in preschool disputes. In D. Tannen (Ed.), *Gender and conversational interaction*. 83–109. Oxford University Press.
- Tannen, D. (1992). *You just don't understand: Women and men in conversation*. Virago.
- Wolfson, N. (1983). Compliments in cross-cultural perspective. *Tesol quarterly*, 15 (2), 117-124.

参考 URL

- 田代 雅典 (2023) 「2023 年の YouTube 視聴はますます多様に：テレビデバイスで月間 3,800 万人、ショート動画も前年度より加速」 <https://www.thinkwithgoogle.com/intl/ja-jp/marketing-strategies/video/youtube-recap2023-2/>. Retrieved on January 8. 2024.
- 古宮 大志 (2021) 「YouTube の国内利用実態：2020 年は外出自粛を機に利用が定着」 <https://www.profuture.co.jp/mk/column/15081>. Retrieved on January 8. 2024.

教材動画 URL

- AHR JAPAN SCHOOL. (2023, Jan 7). *日本の文化習慣 #1* [Video]. YouTube. <https://www.youtube.com/watch?v=4c1FhmPHlyE>.
- @RiceBurgerStudios. (2022, Mar 10). *How to compliment a girl* [Video]. YouTube. <https://www.youtube.com/shorts/OZj0Zrov2GE>.
- @RiceBurgerStudios. (2022, Mar 12). *How to compliment a guy* [Video]. YouTube.

<https://www.youtube.com/shorts/yWHgpOio7u4>.
ハムスケのぼんご. (2023, July 7). 13 分間の日本語日常会話：友達とショッピングモール [Video].
YouTube. <https://www.youtube.com/watch?v=WV2gpI0-TWo>.
Meshclass 日本語. (2021, Apr 23). 日本人ならこう言う#2〇〇が好きです→??? [Video]. YouTube.
<https://www.youtube.com/watch?v=5rOTHF95onc>.
Meshclass 日本語. (2021, Jun 7). 日本語会話：日本語が上手と言われたら？自然な返事をしてみ
よう” [Video]. YouTube. <https://www.youtube.com/watch?v=pxUk6-QDChw>.
Meshclass 日本語. (2021, Jun 23). 日本語会話：日本人みたいに話そう！驚いた時に使う7つの日本語
表現 [Video]. YouTube. <https://www.youtube.com/watch?v=re3gGzdIYKw>.
Meshclass 日本語. (2021, Aug 7). 日本語会話：日本人っぽい「とても」の言い方を学ぼう！[Video].
YouTube. <https://www.youtube.com/watch?v=9OkUJrBE7Vs>.
Meshclass 日本語. (2021, Aug 12). 日本語会話：「何」のつく副詞を使いこなそう！[Video]. YouTube.
<https://www.youtube.com/watch?v=f6eis0d--Fg>.
myjapanese. (2021, Jan 2). *Japanese Dialogue* 日本語会話 8 Lesson 37 ~ 40 [Video]. YouTube.
<https://www.youtube.com/watch?v=TOz7lBw-jGI>.
myjapanese. (2021, Jan 3). *Japanese Dialogue* 日本語会話 9 [Video]. YouTube.
<https://www.youtube.com/watch?v=svQKokZ6Rys&t=133s>.
myjapanese. (2021, Sep 6). *Japanese Dialogue Lesson 12* 「すてきなセーター」 [Video]. YouTube.
<https://www.youtube.com/watch?v=7lQdlGHmhhQ>.
myjapanese. (2021, Sep 22). *Japanese Dialogue Lesson 13* 「そのセーターはあたらしいですね」 [Video].
YouTube. <https://www.youtube.com/watch?v=tIP2bSweWRY>.